

農文協

印西市草深地区「伊藤苗木」創立者の 青年時代の漫画日記が本になりました



イネをはさがけし、草刈りに行き、下肥を使い、締め滓で肥料を作り、落花生の干した茎で風呂を沸かす。時間があれば縄細工用にイネの茎を打ち、縄を絞る...

労働は厳しかったが、
農民は豊かな日々の中にいた。
それを本書は教えてくれる。

塩野米松 ● 解説



僕の漫画農業日記

昭和 31 ~ 36 年 14 歳、農家を継ぐ 伊藤茂男 絵と文